

利用システム
水緑化

折板屋根に直接接着

共同カイテック 30%コストダウン

共同カイテック（東京都渋谷区、吉田稔社長）は、工場や物流倉庫などの折板屋根用に特化した雨水利用緑化システムを開発した。接着固定工法により直接折板屋根に取り付けるため、折板屋根の凹凸面を平らにする下地作業を不要とし、従来製品と比べ30%のコストダウンを実現する。緑化面の全面歩行が可能で、風圧50kgの試験でも安全

性が確認されている。11月から「スクエアターフ Wave」の商品名で販売する。

同システムは天然芝、特殊ウレタン土壌、コンテナ、かん水パイプで構成され、芝の生育に必要な雨水をコンテナ底面で貯留する。コンテナから芝生までの厚さは48ミリ、満水時の重量は1平方メートルあたり57キロと薄型・超軽量なものも特長。

カレンター機能を備えたセンサー式自動かん水コントローラーを搭載しており、雨が降らない日が続いて貯水槽の水がなくなると、コンテナに設置されたセンサーがそれを検知し、季節にあった最適な水を自動的にかん水する。

外気温が最高39・1度

の日に行った温度試験では、緑化していない折板屋根表面の温度が55・4度まで上昇したのに対し、芝生下の折板屋根の温度は最高34・3度で、大きな断熱効果があることを実証した。

同社は、工場立地法や改正省エネへの対応、建物内の冷暖房費の削減、断熱、保温、雨音の低減に有効なシステムとして提案し、初年度は2万平方メートルの販売を目指している。1平方メートルあたりの材料価格は1万4800円。